（財）日本医療機能評価機構認定病院
福岡整形外科病院広報誌

2012
Vol.25

Ça et là

サ・エ・ラ

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



撮影者：藤山 忠夫様
撮影場所：大分県九重（牧ノ戸）

INDEX

01 巻頭あいさつ
02 「ガムシャラ!!」 アビスパ福岡
03 整形外科の疾患 肩関節前方不安定症
05 海外エッセイ
オーストラリア メルボルン（王寺院長）
中国 上海（吉本栄治医長）
07 ソフトバンク優勝報告・慰問会
お知らせ ～ぐらんざ1月号より～
08 新人スタッフ紹介
PICK UP!
09 栄養課だより
10 院外研修実績

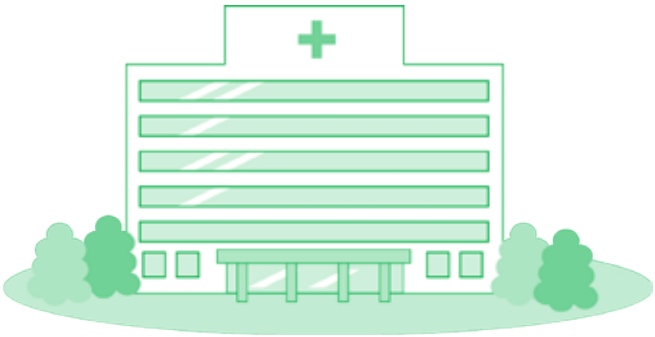
理　念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

■患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療がうけられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様が満足いただける医療をめざします。
■診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。
■一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
■病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
■職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
■地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

創立35周年を迎えて！





福岡整形外科病院　院長
王寺　享弘
toshihiro ohdera

昭和52年6月6日に当院は開院しましたので、今年で創立35年目の節目の年を迎えます。奇しくも私も昭和52年3月に大学を卒業して、5月に国家試験に合格し、6月から医者の卵として第一歩を踏み出しました。

駆け出しの頃は、日常の診療でもまだドイツ語が使われていました。その頃の学んだ知識と、現在第一線で行っている治療とは隔世の感があります。常識と思われていたことが非常識になり、逆に非常識が実は正解ということさえも経験してきました。

21世紀もすでに11年が過ぎ、我が国はいよいよ少子化時代に突入し、未曾有の超高齢化社会を迎えようとしています。またquality of lifeの向上を求めていくなかで、これからもますます整形外科の需要が増えていくでしょう。このような時代の変遷とともに、整形外科の治療は一歩一歩しかし着実に、そして大きく変わりつつあります。

現在、整形外科の手術は大きく２つの流れに向かっているように思います。内視鏡を応用したendoscopic surgeryと、人工関節や骨切りなどのmajor surgery です。内視鏡を用いた手術は関節外科のみならず、脊椎外科にも導入されていますし、またmajor surgeryでも低侵襲の手術が取り入れられて、手術創を小さく、軟部組織のダメージを減らしかつ早期の社会復帰を目指す方向へと進みつつあります。

当院では数年前から再開発事業に着手し、第一期として新築棟（東館）が完成し、続いて第二期工事として既存棟（本館）の全面的なリニューアルを行ってきましたが、昨年３月末で終了しました。これで病院の総床面積が1.5倍になり、患者さまへ最新の医療空間およびアメニティの良い快適な医療環境を提供できているものと考えています。さらに建物のハードの面だけではなく、各部署にバランスよく設備投資を行い、効率よくスピーディな最先端の医療が行えていると確信しております。特に新築棟の2階に病院の中核部門である手術室を移設し、手術機器・麻酔・医療情報などを日々進歩する整形外科手術に対応するために、30年先の将来を考えてすべて最先端の設備投資を行いました。

しかしこれからの30年後には想像もできないような治療が行われている可能性があると思います。おそらく遺伝子を応用した医学が導入されているでしょう。これに対して決して現状に甘んずることなく、常に前を向き、時代を先取りしていく気持ちを強く持っていく覚悟であります。

これからも35才になった福岡整形外科病院をよろしくお願いします。

「ガムシャラ!!」アビスパ福岡



2012年度のJリーグは3月4日開幕します。

アビスパ福岡チームドクターチーフ
副院長 吉本 隆昌

我らがアビスパ福岡は今季J2に降格してしまいましたが、3月4日のホームでの開幕戦に向けて新体制でのチーム作りが進行中です。

監督・コーチ陣も一新、選手は10名の新加入を迎えて26名。

新しいチームに生まれ変わりました。今年の開幕戦の対戦相手はロアッソ熊本ですから、いきなりの九州ダービーとなり、絶対に負けられません。昨年は開幕スタートからの連敗が響き、J1に踏みとどまることができませんでしたので、今季はスタートから確実に勝ち点を積み重ね、勝ち点90点、J2優勝、そして1年でJ1復帰の目標を成し遂げて欲しいと期待しています。

アビスパ福岡のチームドクターとして、当院の活動も1月14日のJリーグチームドクター会議からスタートしました。選手のメディカルチェック、ワクチン予防接種の徹底や今季のドーピングの変更点などの説明を受け、慌ただしく開幕に向けての準備に取り掛かっています。

開幕前の選手達のメディカルチェックでは全員問題なく、これからキャンプとプレシーズンマッチで鍛え上げ、そして開幕戦の勝利へと万全のコンディションで臨めるように私達も頑張らなければなりません。

アビスパ福岡の今季のスローガン「ガムシャラ!!」は全員攻撃と全員守備で戦い続けるチームを目指してのものです。そして、選手、スタッフ、フロント、そしてサポーターも一丸となって、飾らずに前に進むという気持ちがこもっています。私達、福岡整形外科病院もチームドクターとして職員一丸となって、今季もアビスパ福岡をサポートします。

J2優勝とJ1復帰を目指して！
頑張れアビスパ福岡!!





©Avispa Fukuoka

整形外科の疾患

肩関節前方不安定症

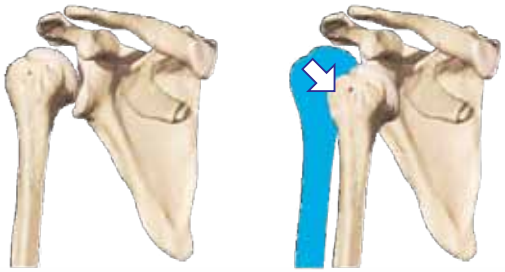


医師　真鍋 尚至
日本整形外科学会 専門医
日本肩関節学会会員

1. 肩関節前方不安定症ってどんな病気なのでしょうか?

肩関節はほかの関節に比べて最も脱臼しやすい関節で、その殆どが前方への脱臼です。転倒・転落、スポーツなどで転んだ際に後ろに手をついたり、急に腕を後ろへ持っていかれたりした際に肩が“外れ”たり(脱臼)、“外れそう”になったり(亜脱臼)して外傷性肩関節前方(亜)脱臼[注1,2]は起こります。【図1】(亜)脱臼する際に、関節を支えている部分(関節唇、靱帯、関節包など)が損傷されてしまうため、一度(亜)脱臼を起こすと肩関節が不安定な状態となり、しばしば(亜)脱臼を繰り返すことになってしまいます。特に若年者、男性、高い活動性のある人は再発し易いといわれています。このように2回以上の(亜)脱臼を繰り返している状態を肩関節前方不安定症といいます。

【図1】外傷性肩関節前方脱臼



正常　　前方脱臼

単純X線



正常　　前方脱臼

注1) 脱臼と亜脱臼

初めての完全脱臼の場合、痛みでほとんど肩を動かすことは出来ず、自力で脱臼を整復することは出来ませんので、緊急に病院で整復してもらう必要があります。一方、亜脱臼の場合は、ガクッとあたかも脱臼したような感覚を感じますが、その後は病院で整復操作をしなくても自然に動かすことが出来るようになります。脱臼後は約3週間の固定が必要で、できれば装具を付けて手を外側へ向けた外旋位固定を行うことで再脱臼率を減らすことができます。亜脱臼の場合でも、しばらくの間は三角巾固定をする必要があります。

注2) 外傷性と非外傷性

外傷性(亜)脱臼は、転倒や転落など、何らかの外傷が加わって発生したものをいいます。一方、特に外傷が加わることなく両側性に発生するものを非外傷性(亜)脱臼といい、これはもともとの関節の緩さが要因にあります。

2. どんな症状がでるのでしょうか?

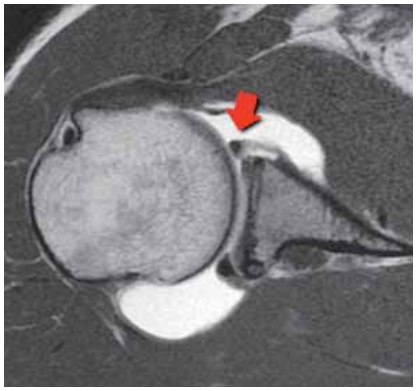
肩関節前方不安定症になると、衣類の脱着や寝返りの動作、後ろへ手を伸ばしたりするたびに“肩が外れそう”な感覚に襲われて痛みが出ますが、しばらく安静にすれば治まります。脱臼してしまった場合は自己整復できないことも多いので、その都度病院へ行って整復してもらう必要があります。

3. 検査と診断

まず外来初診時には、不安定性をみる徒手検査のほかに、単純レントゲン検査にて骨の状態を調べます。骨に異常が疑われる場合にはCT検査を行います。さらに詳しく調べる必要がある場合はMRI検査を行いますが、なかでも、最も正確に診断できるのがMR関節造影検査です。これは、MRIを撮影する直前に関節内に造影剤を注入しておくことで、通常のMRI検査よりも損傷部分をより正確に描出することが可能となりますので、肩関節前方不安定症が疑われる場合は必須の検査となります。

肩関節前方不安定症の病態は、関節の前下方を支えている関節唇や靱帯を含む関節包が損傷(バンカート病変)していることですので、MR関節造影にてその損傷が認められれば診断することができます。【図2】

【図2】MR関節造影



関節唇損傷(バンカート病変)

4. 治療法

(亜)脱臼を繰り返したり、肩の不安定感が持続したりしている場合には、保存療法で根治させることは困難ですので手術療法を行うのが原則です。以下は当院で行っている主な手術方法です。

●鏡視下バンカート修復術

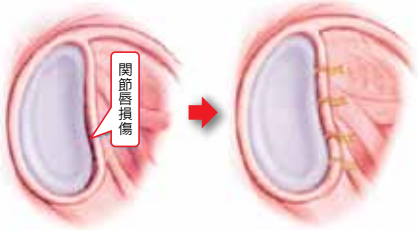
初回手術としては鏡視下バンカート修復術を第一選択として行います。肩関節内の損傷した部分(バンカート病変)を内視鏡を用いて修復します。関節の縁の骨に糸の付いたアンカーを数個打ちこんで、関節唇を縫合・固定します。【図3】

●Bristow変法

ラグビーや柔道などの激しいコンタクトスポーツを行う選手や、骨欠損の大きな場合、鏡視下バンカート修復術後に再脱臼した場合などに行う手術方法です。内視鏡は用いずに8～10cm程度の皮膚切開を行い、肩甲骨の烏口突起という骨の突起を切り離し、関節の縁にスクリューで固定します。【図4】

入院は少なくとも10日間程度は必要で、その後も長期間のリハビリが必要となります。スポーツ復帰はおよそ術後6ヶ月です。

【図3】鏡視下バンカート修復術



関節唇を縫合して修復

【図4】Bristow変法



最後に… 気になる症状があれば、遠慮なく外来担当医にご相談下さい。

海外 エッセイ

メルボルンでの MIS TKA cadaver training

院長 王寺 享弘

平成23年9月5日(月)から4泊5日の予定にて、オーストラリアのメルボルン市で献体を使った低侵襲性の人工膝関節置換術(MIS TKA)のトレーニング(cadaver training)に行ってきました。今回は慶応大学の松本秀男教授と私の2人がfacilitator(指導係)として、全国から9人の整形外科医が参加しました。松本先生とはかねてよりいろいろとお世話になっており、気心が知れた方で、このcadaver trainingのプロジェクトでは数年前から一緒に仕事をしています。これ以外にお手伝いをするstaffが6人同行しました。

5日の昼過ぎに成田まで飛び、なんと6時間近くも空港内で待って、ようやくカンタス航空にて午後の9時過ぎにシドニーに出発しました。3年前にも当地でのcadaver trainingを行いましたが、その頃は成田からメルボルンへの直行便があったのですが、その後なくなり、そのためシドニーから乗り換えてメルボルンに翌日6日の午前11時ごろに到着しました。そのままホテルに直行して、午後から各先生方の講演と討議を行い、その後松本先生と私のＭＩＳ ＴＫＡに関する講義と指導を行いました。7日の水曜日にいよいよメルボルン大学構内でのcadaver trainingの実技トレーニングを行いました【写真1】。実習室に移動し、まず松本先生が手技を実演して、その後私と2人で指導しました。献体は5体用意されていて、先生方は2人でペアを組み、午前中に1人が手術し相手が助手を務め、午後は入れ替わって反対の膝を手術するといったスケジュールで進行していきました。施設は新しくはありませんが、設備は整っており、献体もしっかりとしたものでした。隣の部屋ではメルボルン大学の学生への講義が行われていましたが、移民の国らしく多くのアジア系の生徒をみかけました。



【写真1】メルボルン大学内の実習室にて



【写真2】ホテルでの講義

終了後、その夜は市内の中華街のレストランで中華料理をいただきました。とても美味しい料理を十分に堪能しましたが、以前よりオーストラリアの中華料理は抜群と思っていました。やはりそれはアジアからの移民が多く、華僑が多く住んでいることが理由だろうと考えています。

8日(木)はホテルで午前中に、2人でまとめの講義をして、その後各先生方からの昨日の実技に関するいろいろな質問を受けました。【写真2】

その後先生方に今回のcadaver trainingの受講証明書を授与しました。午後からは自由時間で市内の散策に出かけました。ホテルの近くの公園にキャプテン・クックの少年時代に過ごした小屋があるとのことで見物に行きましたが【写真3】、オーストラリアの気候は日本とはちょうど反対で、冬から春になろうとしている時期で、風が強く歩いている多くの人がコートを着ていました。その日の夕方にホテルを出発して、シドニーに向かい、そこから成田へ飛び、9日の金曜日早朝に日本に帰国しました。

しかし今回のcadaver trainingはいろいろとトラブルが続きました。第一にこのtrainingは今年の3月末に予定されていましたが、東北震災のためキャンセルとなり、9月に延期されました。次に実はタイのバンコクでの実施予定でしたが、政権が代わり器具の搬入が厳しくなったとのことで、2週間前に急にメルボルンでの開催となりました。最後に成田での帰国手続きを済ませて、荷物を受けとろうと、baggage claimの前で待機していましたが、待てども私のスーツ

ケースはとうとう出できませんでした。ムッとして係の人に強く苦情を言いましたが、こちらも寝不足で頭が十分に回転しませんし、とにかく書類を書いて、そのまま福岡に戻ってきました。２日後にカンタス航空から電話があり、シドニーで積み残しされており、スーツケースが見つかったとの連絡があり、12日の月曜日に宅急便で自宅に届けられてきました。海外旅行ではこのようなことは時にあると耳にしていましたが、私にとっては初めての経験でしたし、帰国してからでしたから実害はありませんでしたが、もし現地に到着して荷物が着かなかった時には大変困っただろうと思います。最終的には荷物が見つからないこともあるそうです。

しかしこのようなトラブル続きでしたが、今回はfacilitatorが2人でしたので、分担して各テーブルを回ることができ、時間的にも余裕があり、十分に先生方に実技指導ができたのではないかと思っています。また参加された先生方の評判もとても良かったようです。



【写真3】キャプテン・クックの小屋



Zimmer Asia Pacific Regional Insall Legacy Symposiumに参加して

医長　吉本　栄治

平成23年10月6日～10月9日まで今回アジアでの人工膝関節の学会のため上海に行かせていただきました。福岡からは飛行機で1時間30分。東京より近かった気がします。上海空港からバスで街中へ。徐々にあのテレビでみた光景が見えて来ました。実際にテレビ塔などの変な（？）建物群を目にすると壮大ではあるのですが、なにか違和感も感じる風景でした。宿泊先は学会が開催されるホテルでしたが、部屋でもWiFiがつながる近代的なロビーが吹き抜けの立派なホテルでした。（おそらく今まで泊まったなかで一番立派なホテル…に一人きり）ホテルマンが流暢な英語を話すことにも感動しつつ。学会の内容にはあまり目新しさはないものの、近年のトピックスが様々な観点からなされたため有意義に過ごすことはできました。特にアメリカの人工関節の開発に関わる医師と、上海で日本人が英語で話をしている自分に酔いしれた夕食は楽しいものでした。しかし上海ではさぞやいいものが、食べれるだろうと期待していたのですが、滞在中は、ほぼすべてホテルの食事。一流ホテルですので、確かにおいしいのですが、ホテルの食事は万国共通！毎日ではいやになります。イタリアではすぐにチーズとトマトに嫌気がさし、中華料理に走ったのですが、中国ではホテルの食事に嫌気がさし。上海ガニも出てきましたが、小さくてむくのも面倒で、みそはゆで卵の味でした。街中の中華料理店だと庶民の口にあったのかもしれません。また会場では以前北京の中日友好病院から当院へ研修に来ていた王医師と数年ぶりに会うことができました。その当時北京でも珍しかった人工関節の手術をいまではバリバリやっているようでした。うちで磨いた技術を発揮しているといわれるとうれしいかぎりです。人工関節は欧米など先進国を中心に発達してきた手術ですが、近年のアジア新興国でも経済の発達に伴い、この手術が広まりつつあるようです。ただ医療制度の異なる他の国々では一部の富裕層に限られるのだろうと思いつつ、甘栗しかお土産を買わなかったため冷ややかな家族のもとへ帰国。



懐かしの王先生と記念撮影



福岡ソフトバンクホークス　優勝報告・慰問会

平成23年12月21日(水)15:00 ～ 16:00

平成23年度シーズンに活躍した福岡ソフトバンクホークスの城所・福田両選手が当院に来院され、優勝報告を行うと共に病棟を慰問されました。2人は入院患者様にサインをプレゼントされたり、励ましの言葉をかけてくれたり、病院全体が明るい雰囲気に包まれました。平成21年に王寺院長より、左足小指の手術を受けたことがある福田選手は、「来年も優勝して、再び訪れたい」といわれていました。



▲優勝報告の後、職員による花束贈呈



▲ 左：城所選手　右：福田選手

お知らせ

情報誌「ぐらんざ」1月号の特集で王寺院長が「知っておきたい、膝が痛くなる理由」というインタビュー形式の記事に登場しています。また理学療法士の岩井も「膝の痛みはアライメント(姿勢)と連動している!?」という記事の中で、アライメント(姿勢)の重要性を説き、インナーマッスルの鍛え方について、写真付(本人が出演)で解説しています。興味のある方は正面受付に置いていますので、是非ご覧ください。

情報誌「ぐらんざ」1月号 22～23ページ





栄養課だより

栄養課 主任
管理栄養士 光安 由佳

栄養課では、入院患者さまのお食事において様々な行事食を行っています。
おせち料理、節分、ひなまつり、端午の節句、七夕、十五夜、クリスマス等々…行事食として手作りの特別メニューにメッセージカードを付けてお出ししています。入院生活の中で少しでも患者さまに季節を感じて頂き、笑顔になれるようにと願いを込めて提供しています。

今回のお題

今回は昨年のクリスマスに素敵なクリスマスプレゼントが届いたので、クリスマス行事食とともにご紹介させていただきます。

★ クリスマスディナー ★



（献立）

●ごはん ●ローストチキン ●水菜サラダ
●ミネストローネ ●クリスマスケーキ



★ クリスマスカード ★



クリスマスカードの手作りサンタさん、とってもかわいいですよね。

実は、これは以前当院に入院されていたある患者さまからのクリスマスプレゼントなのです。退院後の自宅療養の際にリハビリを兼ねて折り紙でひとつひとつ作ってくださり、クリスマスの行事食に使ってくださいと、届けてくださいました。ありがとうございます！
とても気持ちがこもった素敵なクリスマスプレゼントに栄養課職員一同感激し、クリスマス料理にもより一層の気合いと愛情を込めてつくりました。
患者さまにも「今日はご馳走だなぁ」「病院でこんな料理が食べられるなんて思わなかったよ」と好評で、カードもベッドサイドに飾って頂いている方も多くいらっしゃいました。
私たち栄養課からのささやかなクリスマスプレゼントになったでしょうか？



これからも患者さまに安心・安全で、楽しんでいただける食事を提供していけるよう、スタッフ一同頑張ります！

院外研修実績 ～講演・学会発表・研修会参加実績等～

平成23年7月～平成23年12月 ※医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日付	学会名	演者	演題	場所
7.1～2	第37回日本骨折治療学会	徳永 真巳	踵骨骨折に対するプレートを使用しない骨接合術の工夫	横浜
7.1～2	第37回日本骨折治療学会	櫛田 学	中手骨頸部、骨幹部骨折に対する鋼線髄内固定法(Foucher法)の小経験	横浜
7.8	第10回千葉RA・膝研究会	王寺 享弘	人工膝単顆置換術 ― 過去と現在そして将来 ―	千葉
7.17～20	第55回日本リウマチ学会総会	王寺 享弘	リウマチ膝に対する人工関節置換術の長期成績	神戸
9.18～19	第3回日本骨折治療学会研修会	徳永 真巳	脛骨プラトー骨折 ― 関節鏡視下整復の実際 ―	東京
9.20～21	第36回日本足の外科学会	宮城 哲	リスフラン靱帯損傷に対してスクリュー固定を行った7足の検討	奈良
9.23～24	第37回日本整形外科スポーツ医学会	王寺 享弘	半月板切除後のスポーツ復帰 ― MRI所見からの判断 ―	福岡
10.11	第6回北九州整形外科手術セミナー	王寺 享弘	MIS-TKAのKnacks & Pitfalls	北九州
10.15	Hip Fracture Seminar in 名古屋	徳永 真巳	不安定型転子部骨折における治療	名古屋
11.12	Hip Fracture Seminar in 広島	徳永 真巳	不安定型転子部骨折における治療	広島
11.12	第17回Fukuoka Knee Society	王寺 享弘	Rapid chondrolysis after arthroscopic menisectomyの7例	福岡
11.12	第17回Fukuoka Knee Society	吉本 栄治	膝大腿骨内側顆骨壊死に対する人工膝関節置換術の選択	福岡
11.12	第17回Fukuoka Knee Society	森永 穣地	膝蓋上包が原因であった特発性膝関節血症の1例	福岡
11.12	第17回Fukuoka Knee Society	富永 冬樹	膝内側半月板後角損傷に脛骨に骨陥没を生じた2例	福岡
11.19～20	第44回中国・四国整形外科学会	大西 慶生	人工関節置換術における静脈血栓塞栓症の病態と対策 ― エコー検査所見より ―	松山
11.26～27	第122回西日本整形・災害外科学会	櫛田 学	膝関節周囲の皮下軟部組織腫瘍の7例	熊本
11.26～27	第122回西日本整形・災害外科学会	碇 博哉	腰部脊柱管狭窄症に対する顕微鏡視下片側進入両側除圧術の成績	熊本
11.26～27	第122回西日本整形・災害外科学会	真鍋 尚至	人工膝関節全置換術におけるセメント固定時の駆血帯使用の影響	熊本
11.26～27	第122回西日本整形・災害外科学会	森永 穣地	MIS-TKAにおける大腿骨component設置の検討 ― 正中設置について ―	熊本
11.26～27	第122回西日本整形・災害外科学会	富永 冬樹	人工膝単顆置換術後のスポーツ活動	熊本

■ 看護部学会

日付	研修会名等	参加者
8.26	第13回日本褥瘡学会 学術総会	5名
9.8～9.9	第42回日本看護学会 看護総合 「患者参画型看護計画の活用に関する看護師の認識」	伊藤 照美
9.17～9.18	第42回日本看護学会 成人看護 Ⅰ・Ⅱ 「手術室入室方法の選択に関する病棟看護師と手術室看護師の認識の違い」	庄司 美奈子
10.7～10.8	第33回日本手術医学会 総会	4名
11.1～11.2	第16回看護サミット 福岡	3名
11.4～11.5	第25回日本手術看護学会 年次大会	1名
12.3	第11回福岡県看護学会 「アルツハイマー型認知症患者に対する服薬管理介入」	佐藤 万里子

■ 放射線科

日付	研修会名等	演者
7.15	福岡県放射線技師会福岡支部勉強会	香月 伸介
7.30～31	第13回症例勉強会 ― 骨・関節領域 ―	釘宮 慎次郎
7.30～31	第13回症例勉強会 ― 骨・関節領域 ―	川崎 久充
7.30～31	第13回症例勉強会 ― 骨・関節領域 ―	辻 英雄
9.16	福岡県放射線技師会福岡支部勉強会	香月 伸介
9.16～18	第27回放射線技師総合学術大会 第18回東アジア学術交流大会	釘宮 慎次郎
9.29～10.1	第39回日本磁気共鳴医学会大会	辻 英雄
10.1～2	第5回NTRT全国X線撮影技術読影研究会	釘宮 慎次郎
10.22	福岡県放射線技師会撮影実技セミナー	釘宮 他5名
10.28～30	第39回日本放射線学術学会秋季学術大会	川崎 久充
11.5～6	第5回九州放射線医療技術学術大会	釘宮 慎次郎
11.5～6	第5回九州放射線医療技術学術大会	川崎 久充
11.5～6	第5回九州放射線医療技術学術大会	辻 英雄
11.18	福岡県放射線技師会福岡支部勉強会	香月 伸介
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	釘宮 慎次郎
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	香月 伸介
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	川崎 久充
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	金子 景子
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	辻 英雄
11.26～27	佐賀県放射線技師会 平成23年度リフレッシュセミナーⅠ	清田 綾
12.2	福岡県放射線技師会福岡支部勉強会	香月 伸介

■ 検査

日付	研修会名等	参加者
7.23	医療安全講演会	1名
8.20	平成23年度日赤 輸血懇話会	1名
10.7～8	日本臨床検査自動化学会	1名
10.25	血液・凝固・染色体・遺伝子分野勉強会	1名

■ 栄養

日付	研修会名等	参加者
7.29	福岡市給食施設従事者研修会	1名
8.26	クッキングライブ	2名
8.31	福岡市給食施設従事者研修会	1名
9.17	生活習慣病予防のための食生活セミナー	1名
9.28	福岡市給食施設従事者研修会	1名
10.29	福岡県栄養改善学会	1名
11.19	臨床栄養セミナー	1名
11.20	生活習慣病予防・保健指導セミナー	1名

■ 看護部

日付	研修会名等	参加者
7.1～7.30	医療安全管理者コース	1名
7.8	管理者のためのメンタルヘルス	5名
7.14	フィジカルアセスメント	1名
7.22～7.28	看護管理者コース	1名
7.10	移動介助	2名
8.2	コーチング 基礎編	2名
8.19	私たち新人だって医療事故を防ぎたい	2名
8.30	臨床倫理の考え方	3名
9.6	新人のためのME機器の基礎	2名
9.13	コーチング 応用編	1名
9.27	セルフコントロールで変えよう	3名
10.3～10.7	感染管理者コース	1名
10.12	高齢者の理解と尊厳を守る看護	3名
10.13	新人看護職卒後研修制度について	1名
10.14	災害支援ナースの育成 基礎編	1名
10.15	輝け!リーダー	2名
10.20	知っておきたい薬理学	2名
10.25	学ぼうリンパマッサージ 基礎編	1名
10.27	フィジカルアセスメント 実践編	1名
11.11～11.12	生活をつなぐ退院支援	5名
11.16	褥瘡の予防と治療	3名
11.29	臨床検査の基礎	2名
	看護必要度評価者院内指導者研修	2名
12.7	うつ症状のある患者の看護	1名
12.9～12.10	看護管理者に役立つ法律・制度・経営の情報	1名
12月	九大病院外部新人看護師研修	2名
12.13	生かそうキャリア	3名

■ 薬局

日付	研修会名等	参加者
10.1～2	日本医療薬学会	1名
10.16	平成23年度福岡県中小病院・診療所薬剤師研修会議	1名
11.10	第49回福岡県病院診療所薬剤師研修会	1名
12.9	平成23年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者講習会	1名

■ リハビリテーション科

日付	研修会名等	参加者
7.2～3	日本ハンドセラピィ学会認定ハンドセラピスト養成カリキュラム 平成23年度基礎研修会	1名
7.31	触診セミナー	2名
8.28	福岡徒手療法勉強会「肩周囲の評価と治療」	2名
9.18～19	第12回関節ファジリテーション学会	4名
10.1～2	福岡徒手療法勉強会「股関節の評価と治療」	2名
10.6～7	第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会	1名
10.22～23	日本ハンドセラピィ学会認定ハンドセラピスト養成カリキュラム 平成23年度基礎研修会	1名
12.11	HYBRID THERAPY研究会	2名

■ 医事・MSW・総務

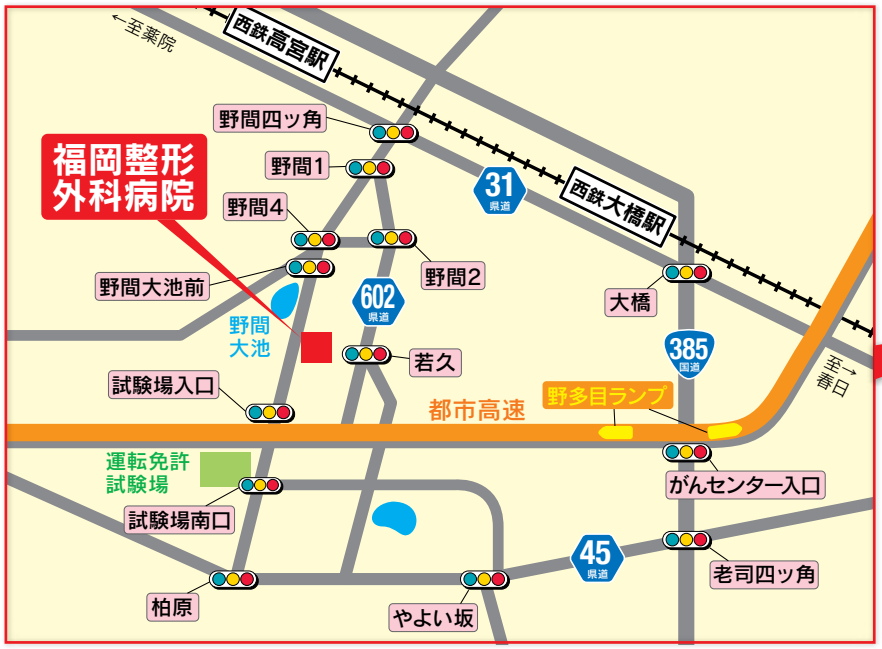
日付	研修会名等	参加者
9.29～9.30	第37回日本診療情報管理学会学術大会	2名

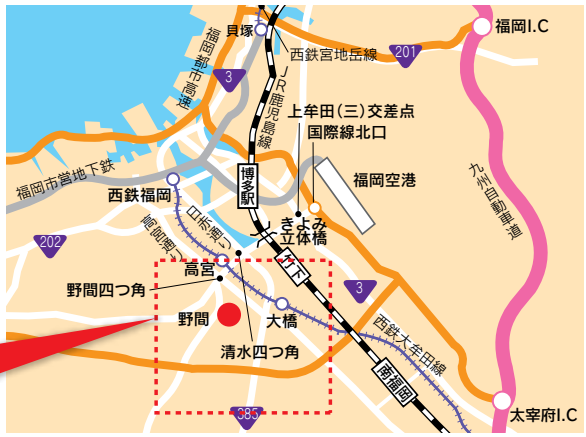
外来診察担当医一覧表

曜日	受付時間 午前(8:30～11:30) ※診察開始 9:00～						午後(13:30～16:00) ※診察開始 14:00～
月	王寺 享弘	吉本 隆昌※	宮城 哲	吉本 栄治	松田 秀策	碇 博哉	―――
火	王寺 享弘	徳永 真巳※	宮城 哲	櫛田 学	真鍋 尚至	大西 慶生	徳永 真巳※・富永 冬樹※
水	吉本 隆昌※	徳永 真巳※	櫛田 学	碇 博哉	真鍋 尚至	交替	―――
木	吉本 隆昌※	吉本 栄治	松田 秀策	碇 博哉	富永 冬樹	―	吉本 栄治※・森永 穣地※
金	王寺 享弘	宮城 哲	松田 秀策	櫛田 学	真鍋 尚至	森永 穣地	香月 正昭・大西 慶生
土	交替であたります （土曜の受付は11:00で終了致します）						―――

※印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。
予約受付時間／月曜～金曜 9:00～17:00

※これは2月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火曜日・木曜日の午後の診療は再来のみとなります。





バス

降車バス停 皿山1丁目

- ●天神(協和ビル前)より 51番
- ●天神(大丸前)より 151番
- ●博多駅(Aバス停)より 50番

- ●博多駅(郵便局前)より 64番 66番 67番
- ▼
- 野間四つ角で乗換え 151番 50番 51番

西鉄大牟田線

- ●高宮駅下車
- ▼
- バスに乗換え 50番 51番

医療法人 同信会
福岡整形外科病院
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL
〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50
TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038
http://www.fukuokaseikei.com/

日本医療機能評価機構 認定病院

【面会時間】平日・土曜／13:00～20:00
日曜・祝祭日／10:00～20:00

【休診日】日曜・祝祭日 【病床数】175床

広報委員会からのお知らせ

広報委員会では広報誌の表紙を飾る写真や絵を随時募集しております。また、広報誌に関するご意見ご感想もお待ちしておりますので、総務課までお寄せください。





AviSpa FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして
『アビスパ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスパ！！